

---

# 「光市事件」弁護団に聞く 弁護団は何を主張・立証したのか

— 報道された虚偽の事実と、報道されなかった真実 —

---

2008年3月15日(土) PM1:30~PM5:30(1:15開場)

主婦会館 プラザエフ

東京都千代田区六番町15番地

(JR四ツ谷駅麴町口前 徒歩1分 地下鉄南北線/丸の内線四ツ谷駅 徒歩3分)

参加費(資料代含):1000円 会場の都合により先着120名とさせていただきます

●主催:「光市事件」報道を検証する会(03-3586-5064 中山法律事務所気付)

[http://www.jca.apc.org/hikarisijiken\\_houdou/](http://www.jca.apc.org/hikarisijiken_houdou/)

## ■「光市事件」報道の問題点 山際永三さん(「光市事件」報道を検証する会)

BPO(放送倫理・番組向上機構)・放送倫理検証委員会への申立の経緯と経過報告  
申立18番組のうち、いくつかの番組から問題箇所を抽出して上映します。

## ■「光市事件」弁護団に聞く 多くの弁護人が出席します

### 第1部 「光市事件」の概要

「光市事件」とは、いったいどのような事件だったのか、スライドを使い、事件の概要を説明。

### 第2部 報告とシンポジウム

「光市事件」は、差し戻し控訴審の当初から、「21人の巨大弁護団」が「死刑廃止運動」に事件を政治利用しているというかたちで、大きく歪められた。

「『光市事件』の弁護活動はどのようなものだったのか」「『光市事件』の報道は真実だったのか」、弁護団の報告とシンポジウムによって明らかにされる。

## ■映像と報告 綿井健陽さん(フリージャーナリスト)

### 「その日の『元少年』～事件当日の足取りと友人の証言から」

「光市事件」が起きた当日(99年4月14日)の元少年(当時18歳)は、自宅を出てから事件現場まで、何をして、どうやって、その現場にたどりついたのか。事件から9年目の現場で、彼の足取りを同じように映像でたどった。また、事件当日に元少年と会っていた友人のAさんの証言なども交えて報告する。

---